

「とちぎの元気な森」を次の世代に引き継ぐために

# とちぎの元気な森づくり

NEWS vol.48



左上：「県民の日イベント」でのPR活動

右上：木工工作コンクール展示会の様子

下：とちぎの元気な森づくり県民会議会長賞受賞作品「森の中の秘密基地」  
(鹿沼市立加園小学校 6年 片庭 好美さん)

## ▼元気な森づくり県民会議だより

- ①令和元年度県民会議定期総会が開催されました！
- ②企画員会議が開催されました
- ③森を知る・森に親しむ活動 ～とちぎの元気な森づくりのPR～
- ④木に親しむ活動 ～木工工作コンクールの開催～

## ▼特集

- ①もくもくまつり2019が開催されました！
- ②とちぎ里山塾の紹介

## ▼県民会議構成員からのお知らせ

- ①栃木県経済同友会 ～栃木県産材を活用したオフィスでとちぎの魅力発信～
- ②足尾に緑を育てる会 ～来年度の活動計画～



発行元：とちぎの元気な森づくり県民会議  
事務局：宇都宮市埜田1-1-20 栃木県環境森林政策課内  
連絡先：(028)623-3302

とちぎの森づくりNEWSは、「とちぎの元気な森づくり県民税」により発行されています。

# 元気な森づくり県民会議だより



## 定期総会

定期総会にて

令和元（2019）年度の活動計画が決定！

5月24日（金）、県庁東館4階講堂において、令和元年度とちぎの元気な森づくり県民会議定期総会が開催されました。



総会会場（県庁東館4階講堂）



あいさつする須賀会長



あいさつする鈴木環境森林部長

平成30（2018）年度の活動報告・収支決算報告、令和元（2019）年度の活動計画（案）・収支予算（案）、役員改選（案）について承認されました。

- ◇会 長：須賀 英之 宇都宮共和大学学長
- ◇副会長：江連 比出市 栃木県森林組合連合会代表理事会長
- ◇副会長：東泉 清寿 栃木県木材業協同組合連合会理事長
- ◇副会長：増淵 充 (公社)とちぎ環境・みどり推進機構理事長
- ◇監 事：岡部 正英 栃木県市長会副会長、金田 淳 栃木県PTA連合会会長(令和元年10月30日時点)

### ☆県民会議の活動☆

- 🌳 県民会議は、元気な森づくりの日（10月16日）を中心に、とちぎの元気な森づくり憲章に基づき、「森に親しむ活動」「木に親しむ活動」「森を知る活動」を展開します！
- 🌳 構成員は、森林の公益的機能の普及啓発や木製品の利用の呼びかけを行うなどにより、「県民協働の森づくり活動」を推進していきます！



## 企画員会議

9月3日（火）、県庁北別館303会議室において、とちぎの元気な森づくり県民会議企画員会議が開催されました。

昨年度から規約が改正され、県民会議の各団体から企画員を御推薦いただき、活動等について御意見をいただいたり、全体の活動に取り組んでいただくこととしています。



今回は、主に10月に行われるイベント（※）での森づくり憲章のPR活動について、話し合いを行いました。

事前にいただいたアンケートを基に、企画員の皆さまから様々な御意見をいただきました。また、今年度の構成員の活動内容等について、事務局から説明を行いました。



各団体の広報誌など、森づくり推進をPRできる場があれば、事務局（県環境森林政策課）までぜひお寄せください！

（※）出展予定であった「栃木県体感型就業説明会」（令和元年10月19日開催）は、台風19号の影響により中止となりました。



## 森を知る・森に親しむ活動

### とちぎの元気な森づくりをPR!!

～ 県民協働で行う森づくりの大切さを広く県民の皆様にご紹介～

とちぎの元気な森づくりのPRのため、6月15日（土）に行われた県民の日イベント等に  
出展しました。

県民の日イベントでは、雨天で足下が悪い中、当日は多くの方々にご来場いただきました。

会場では、とちぎの元気な森づくりに関するパネル等の展示を行い、アンケートにお答え  
いただいた方へPRグッズの配布を実施しました。これらの取組により、ご来場いただいた  
方々に、森林の大切さや森づくりの必要性について、理解を深めていただきました。



アンケートにご協力いただき、  
ありがとうございました!



県民の日イベント

10月16日「元気な森づくりの日」には、栃木県の森づくり活動のPRのため、その前  
後で懸垂幕や横断幕を県庁舎に掲示するとともに、県庁内においてもPRのための展示を  
行いました。



とちぎの元気な森づくりに関するパネル展示

## 森に親しむ活動

### 知っていますか?とちぎの“森づくり”とその大切さ

「とちぎの元気な森づくり憲章」が制定され、10年が経過しました。  
その間、とちぎの元気な森づくり県民会議では「見直そう『木と森の文化』・引き継ごう『とちぎの元気な森』」をスローガンに、「森と木の文化」を見直すとともに、「とちぎの元気な森」を次代に引き継いでいくため、様々な取組を行ってきました。  
今後も、県民会議では、県民がそれぞれの立場で自発的な行動が起こせるよう、各種運動・活動を進めて参ります。  
10年という節目の中、今一度、「とちぎの元気な森づくり」について考えてみませんか。

### とちぎの元気な森づくり憲章

見直そう『木と森の文化』  
引き継ごう『とちぎの元気な森』

私たちは、古くから暮らしの中で森や木材と深く関わり、森と木の文化を育んできました。先人の長年の努力により守り育てられてきた森は、県民みんなの財産として健全な状態で、次の世代に引き継いでいかなければなりません。

そのため、県民一人ひとりが森の大切さに気づき、荒廃した森の現状を理解し、新たな森づくり活動に取り組んでいくことが必要です。

私たちは、本県の森に元気を取り戻し、未来に贈るため、県民全員が考え、行動できるよう「とちぎの元気な森づくり憲章」を制定します。

私たちは、

1. 森からの恵みに感謝し、語り合い、森への理解を深めます。
2. 暮らしや環境を守るため、元気な森づくりを進めます。
3. 木の文化を見つめ直し、暮らしの中で木材の活用を努めます。
4. みんなの理解と協力の輪を広げて、元気な森をつくります。
5. 100年後の未来のために、すべての生きものが豊かに生きられる元気な森を残します。

私たちは、「森と木の文化」を見直すとともに、それぞれの立場で「とちぎの元気な森づくり」に参加し、「森からの恵み」を後世に伝えます。

2008年3月25日 提唱  
栃木県・とちぎの元気な森づくり県民会議

## 木に親しむ活動

# 木工工作コンクール、金賞決まる!

～ 第12回子どもたちの木工工作コンクールの審査結果について ～

子どもたちの木づかい活動を広く普及するため、第12回子どもたちの木工工作コンクールを開催し、応募作品370点の中から6点の作品が金賞受賞となりましたので御紹介します。

この金賞受賞作品は、令和2年開催予定の第44回全国児童・生徒木工工作コンクールに栃木県代表として出品します。

## 金賞（最優秀賞）：栃木県 知事賞

○小学校低学年の部  
「森の学校」



那須塩原市立青木小学校  
4年 菊地 柚空 さん

○小学校高学年の部  
「3匹の小豚」



那須塩原市立塩原小中学校  
6年 野口 稜央 さん

○中学校の部  
「流 (NAGARE)」



那須塩原市立高林中学校  
3年 池上 貴一 さん  
今井 駿基 さん  
櫻井 康生 さん

## 金賞：栃木県 教育委員会教育長賞

○小学校低学年の部  
「とび立つワシ」



栃木市立赤津小学校  
3年 松井 穂高 さん

○小学校高学年の部  
「水車小屋」



鹿沼市立北小学校  
5年 大金 学叶 さん

○中学校の部  
「秋のおとずれ」



那須塩原市立高林中学校  
2年 薄井 優翔 さん  
2年 藤田 隼飛 さん  
1年 印南 凧愛 さん

# もくもくまつり2019

～平成から令和へ 新時代が来ても やっぱり木が好き！～

## とちぎの元気な森づくり県民税のPRを行いました！

令和元（2019）年9月29日（日）に、道の駅うつのみやろまんちっく村において「もくもくまつり2019」が開催されました。会場では、とちぎ木づかい条例やとちぎの元気な森づくり県民税のパンフレットを配布し、木づかいの大切さや森づくりの必要性をPRしました。

また、木製品販売や木工体験、チェーンソーカービングショー、模擬上棟式等さまざまなイベントが行われ、多くの家族連れなどでにぎわっていました。

### イベントの様子



#### 条例・県民税PR

ブースでは木工教室（小枝の鉛筆づくり体験）が行われました。



#### 木製品販売

さまざまなブースでとちぎ材を使用した木製品が販売されました。



#### 模擬上棟式

もくもくまつり目玉のイベントで、多くの来場者が取り囲んでお菓子をゲットしていました。



#### 木製遊具

大人気のシーソーで多くの子どもたちが遊んでいました。



## とちぎ里山塾

とちぎ里山塾では里山林整備で活躍する人材を育成しています。

里山林は、人口減少や生活様式の変化により、持続的に管理していくことが困難な状況にあります。そのため、とちぎ里山塾では、里山林を健全な状態で次の世代に引き継ぐため、森づくり活動団体の中核となる人を対象に、里山林に関する知識や技能を高める研修を実施しています。

### 研修内容

- 講義：大学の先生から里山に関する知識を、産業医の先生から里山林の効用についてご講義いただきます。
  - 「里山林の成り立ちと管理・利用」宇都宮大学 大久保達弘教授
  - 「森林と健康」産業医 倉富 靖子先生
  - 「里山林の価値とこれから」宇都宮大学 高橋俊守教授
- 事例：森づくり活動団体、企業の取組事例、地域の活動事例を紹介します。
  - NPO法人 トチギ環境未来基地 塚本竜也氏
  - 那須平成の森 フィールドセンター長 若林正浩氏
  - (一財)日本健康財団 健康運動指導士 小室史恵氏
  - 市貝町 続谷里づくりの会 代表 高德則夫氏
- 体験：里山林での作業を安全に行うため、技能講習を実施しています。
  - 機器：刈払い機、ノコギリ、ナタ、チェーンソー
- 実習：企業の参画を促すため、塾生が主体となり、里山林を活用した体験プログラムを作成します。体験プログラムは、とちぎ地域・森づくりフォーラムにおいて参加者に体験していただきます。

### 講義：「里山林の成り立ち、管理・利用」



宇都宮大学 大久保教授のご講演

### 事例：「里山林での健康づくり」



(一財)日本健康財団 小室氏の事例紹介

### 体験：安全な作業を行うための技能講習



刈払い機の技能講習

### 実習：体験プログラムの作成



とちぎ里山塾生によるプログラム検討

# 県議会構成員からのお知らせ

## 栃木県産材を活用したオフィスでとちぎの魅力発信

栃木県経済同友会

公益社団法人栃木県経済同友会は、委員会活動、研究会活動等を通して、栃木県を取り巻く様々な課題について積極的な議論や調査・研究を重ね、多くの政策提言を行っています。

今般、事務局の役員室兼応接室及び会議室の内装工事に伴い、栃木県産材のヒノキを壁面に積極的に活用し、木材の長所である美しさや温かさ、優しさを感じる空間を演出しました。

写真1、2の役員室兼応接室には、県産ヒノキのパネルをアースカラーである数種類のブラウン系の塗料で塗り分け立体的に組み合わせることにより、壁面パネルの豊かな表情が空間に深みと味わいをもたらし、県産材の魅力を醸し出しています。

写真3の会議室には、県産ヒノキの素朴な温もりが伝わる均等割りの木ルーバーを配置し、木の風合いに包まれた自然で和やかな雰囲気演出しました。

県産材をふんだんに使用したオフィスは、会員の皆様はじめ県内外からお越しになられる方々にも好評で、栃木県のブランド力向上に貢献しています。



写真1 正方形の木質パネルを複数色に塗り分け、木目を縦横に組み合わせた壁面とし、中央に液晶テレビを配置しました。



写真2 幅が数種類ある長方形の寄木を複数色に塗り分け、木の組み合わせに凹凸をつけて水平に配置した壁面としました。



写真3 ヒノキ自体の木目を生かしながら、木ルーバーを縦均等割りに配置した壁面としました。



自然環境を大切にする心を育む学び舎です

### NPO法人 足尾に緑を育てる会

2020年も植樹を中心に活動します。体力に合わせて、お気軽に参加できます。どうぞお越しください。

#### 第25回 春の植樹デー (日光市足尾町 銅親水公園集合)

2020年4月25日(土)・26日(日) 9:30～昼頃

2日間で2000人のボランティアを募り植樹します。

メインの植樹地は高所ですが、道路沿いにもあります。



#### 作業デー/(夏の草刈りデー) 3月～11月の毎月第3土・日曜日

(3月/14・15、4月/18・19、5月/16・17、6月/20・21、7月/18、(7/19日は夏の草刈りデー)  
8月/22・23、9月/19・20、10月/17・18、11月/14・15)

\* 整地・草刈り・土作りなど、木を植えるための様々な作業を行います。

#### フィールドワーク ①7/5(日)渡良瀬川下流地域 ②10月下旬 足尾

#### 体験植樹 4月～11月 見て、学んで、体験する、足尾ならではの環境学習!

小学校を中心とした各種団体の植樹活動をサポートしています。

\* 事前学習に足尾環境学習センターもあわせてご利用ください。

【問合せ】 足尾に緑を育てる会 日光市足尾町松原2-9 TEL:0288-93-2180

☆詳細は随時当会ホームページに掲載いたします。 <http://www.ashiomidori.com>